

# まほろば



## 病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第87号

2008年10月号

## コラム ー北京オリンピックー

予告されたテロもなく北京オリンピックが成功裡に閉幕しました。開催国の中国が金メダル獲得数で他国を圧倒し、オリンピックを国威発揚の場ととらえる中国の姿勢が目立つ大会でした。その意味では、同じ新興大国のインドがメダルに淡泊な態度を取っていたのが好ましく見えてきます。とは言っても、日本選手の活躍にはTVに釘付けになったのも事実です。一番は女子ソフトボールでしょう。準決勝までは、チームのミスが目立ちましたが、決勝は選手が一丸となって上野投手を盛りたて、見事アメリカを破って、念願の優勝を果たしました。野球が不甲斐なかった分、ソフトボールの活躍は対照的に輝いて見えました。その中で



最も興味深かったのは中継アナウンサーの興奮振りでした。解説の宇津木元監督が絶叫していたのは、ご愛敬ですが、宇津木元監督に煽られるようにベテランアナウンサーのテンションが上がり、回が進むごとに興奮度が増してくるのが分かりました。私にとっては、“前畑、ガンバレ！”に匹敵するアナウンスでした。これも、オリンピックの魔術がなせる技だったのでしょうか。

院長 佐藤 年信

## ひろさき路上文化発信 ーカルチャアロードー

毎年9月第2日曜日に開催されているカルチャアロード、今年は3連休の中日に当たる14日、午前10時から午後3時半まで実施され、快晴の秋空の下、たくさんの人で賑わいました。



カルチャアロードとは、市民の様々な活動や地場産業の発表の場として、土手町通りを開催場所とした歩行者天国です。また、出店した団体から募金を募り、地域の文化・福祉向上のための活動も目的の一つとされています。

今年も様々なイベントがあり、中でも消防署による「はしご車体験コーナー」や電力会社による「作業車乗車体験コーナー」は、子供達に大人気でした。また、メインイベント会場の蓬萊広場での消防蒸気ポンプ放水（プログラムには「津軽遺産！」とありました）やミニコンサート、よさこいやストリートダンス等、いつ出掛けて行っても楽しめるステージイベントプログラムが盛りだくさんでした。



入院係 工藤 真淑

## 語ろう！ 母乳育児とミラクルおっぱいについて… 平成20年9月13日（土）エルムホールにて開催

「赤ちゃんにやさしい病院」認定施設の当院では、院外活動のひとつとして、あおもり母乳の会の活動を毎月行い、母乳育児推進活動に大きな役割を果たしています。今回は五所川原市の保健師さんに協力いただき、五所川原エルムホールでお母さんや家族と「おっぱいについて語り合おう」を企画しました。公報やポスターを見た医療スタッフなど約50名が参加してくださいました。



終わって“ほっ！”みんないい顔

特に赤ちゃんと一緒に多くのお母さん方にも参加していただき、うれしく思いました。

おばあちゃんにミルクを勧められる若いお母さんの寸劇に始まり、母乳のすばらしさと子育てについて、みなさんとのQ&Aも楽しく行われました。また、ご主人やおばあちゃんと一緒にのお母さんからも多くの質問があり、活発な意見交換の中から答えをつかみ取っていただうれしく思いました。

私たちはいつでも赤ちゃんとお母さんの応援者でありたいと認識を新たにさせていただきました。

母子医療センター看護師長 杉山 淳子

## 【第19回青森静脈・経腸栄養研究会に参加して】

去る8月30日（土）残暑の厳しい中「第19回青森静脈・経腸栄養研究会」が弘前文化センターで開催されました。発表演題は8題＋特別講演1題の計9題の発表でした。昨年よりも2題少なかったものの、今回初登場の当院弘前NSTは8題中3題の発表を行いました。

当日は、佐藤院長が世話人として全体を総括し、横山外科医長が座長を務めるなど、アットホームな中にも緊張感みなぎる研究会でした。最初に西2病棟の工藤高文看護師、東3病棟の佐藤留理子看護師、栄養管

理室の篠島の順にそれぞれの発表を行いました。質疑応答も突っ込んだ内容や、より日常業務的内容もありましたが、各演者は落ちついて対応しておりました。コーヒープレイクや意見交換会などで、他施設の職員との交流もあり、実りのある一日でした。

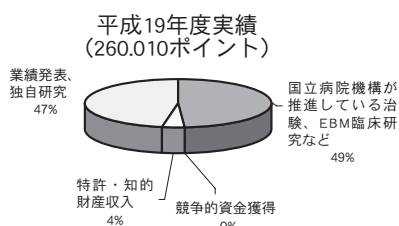
栄養管理室長 篠島 良介



## 当院の臨床研究活動実績 一もっと研究を！

国立病院機構の病院の特徴の一つは臨床研究が行われていることです。各病院の臨床研究活動は治験の実施状況や発表演文数など4項目（24小項目）の実績をポイント化し、その合計によって評価され、次年度の助成金や運営費交付金の金額が決まります。

平成19年度の当院の実績（平成20年度評価）は260.4ポイントで、これは臨床研究センターまたは臨床研究部、院内標榜臨床研究部を置く113病院中67位でした。実は、平成18年度の当院の実績（平成19年度評価）は284.4ポイントで55位となり、平成20年4月に当院の臨床研究部はそれまでの院内標榜から正式な部へ昇格しました。そこで臨床研究センターまたは臨床研究部のある70病院で平成19年度実績をみますと、当院は65位で、自慢はできません。



平成19年度の当院の臨床研究活動の内訳をみてみますと、治験や臨床データを取得の実績が49%、論文等の研究発表が47%、特許関係が4%で（図参照）、研究論文等の実績の割合が増大しています。また平成19年度は実用新案の出願という注目すべき業績もありました。

さて、これからの当院の臨床研究活動の課題ですが、実績ポイントの増大につきます（目標：300ポイント以上）。そのためには、治験を積極的に実施する、論文発表、学会発表を増やす、競争的資金を獲得するなど、これまで以上に活動しなければなりません。毎日の診療の忙しさに身も心も疲れきっている職員に「もっと研究を！」とお願いすることは心苦しい限りですが、それでもあえて叫びたい。「もっと研究を！」

臨床研究部長 泉井 亮

## 一第34回日本診療録管理学会学術大会に参加して一

去る8月21日～22日、第34回日本診療録管理学会学術大会が残暑厳しい中、大会テーマ《医療における社会状況と診療録管理》として、昭和大会上條講堂において開催されました。



主要プログラムに基調講演『社会状況と診療録』、教育講演『ICD-11の改訂について』ワークショップ、特別講演とあり、他に指定演題・一般演題発表やセミナーなど診療情報管理士にとって、学ぶこと

い学術大会でした。シンポジウム『診療録と医療者の教育』では歯学教育、薬学教育担当者から、診療録管理の重要性が叫ばれている中、教育現場での診療録記載教育が不足しているとの報告、また看護教育、医師教育担当者からは、チーム医療において重要な情報交換の道具としての診療録にて他の医療従事者との情報共有が可能な内容を記載する教育が強く望まれるとの意見が出されました。

診療情報管理士としては、患者さまの重要な情報がきちんと診療録に記載される教育が更に望まれる学術大会となりました。

診療情報管理士 齋藤 文子

## 「平成20年度 税務監査」

9月9日（火）から3日間、常世田税理士事務所の税理士2名による税務監査が実施されました。



独立行政法人化後、平成16年度に続き2度目の監査となりました。今回は

月次決算時のチェック方法についての指導、消費税課税区分の適正処理、物品の納品検収の調査を中心に書類審査及び現地調査が行われました。

現地調査では各職場のご協力をいただき、無事終了することができました。

ありがとうございました。

経理係長 高橋 祐樹

# 外来診療一覽

## ◆外来医師診療一覽表（2008年10月1日）

| 診療科              | 区分  | 月                            | 火                    | 水                         | 木                           | 金                    |
|------------------|-----|------------------------------|----------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------------|
| 総合診療外来           |     | —                            | —                    | 大 串 和 久                   | —                           | —                    |
| 内 科              |     | 人 見 博 康                      | 人 見 博 康              | 人 見 博 康                   | 人 見 博 康                     | 人 見 博 康              |
| 呼 吸 器 科          |     | 山 本 勝 丸                      | 中 川 英 之              | 中 川 英 之                   | 山 本 勝 丸                     | 中 川 英 之              |
| 消 化 器 科          |     | 間 山 恒<br>吉 谷 元<br>佐 藤 年 信    | 吉 谷 元<br>藤 田 均       | 間 山 恒<br>藤 田 均<br>佐 藤 年 信 | 吉 谷 元<br>藤 田 均<br>間 山 恒     | 佐 藤 年 信<br>藤 田 均     |
| 小 児 科            |     | 杉 本 和 彦<br>佐 藤 啓             | 野 村 由美子<br>佐 藤 工     | 杉 本 和 彦<br>佐 藤 工          | 野 村 由美子<br>佐 藤 工            | 野 村 由美子<br>杉 本 和 彦   |
| 外 科              |     | 田 澤 俊 幸<br>三 上 勝 也           | 高 橋 克 郎<br>三 上 勝 也   | 横 山 昌 樹<br>田 澤 俊 幸        | 横 山 昌 樹<br>高 橋 克 郎          | 三 上 勝 也<br>横 山 昌 樹   |
| 整 形 外 科          | 午前  | 柿 崎 寛<br>近 江 洋 嗣 充           | 柿 崎 寛<br>奈 良 岡 琢 哉   | 秋 元 博 之<br>近 江 洋 嗣        | 秋 元 博 之<br>又 は<br>近 江 洋 幸 三 | 柿 崎 寛<br>秋 元 博 之     |
|                  | 午後  | —                            | —                    | —                         | —                           | 柿 崎 寛                |
| 脳 神 経 外 科        |     | —                            | —                    | 木 村 正 英                   | —                           | —                    |
| 皮 膚 科            | 午前  | 熊 野 高 行<br>佐 藤 正 憲           | 佐 藤 正 憲<br>熊 野 高 行   | 佐 藤 正 憲<br>熊 野 高 行        | 熊 野 高 行<br>佐 藤 正 憲          | 熊 野 高 行<br>佐 藤 正 憲   |
|                  | 午後  | ● 予 約                        | ● 手 術                | ● 予 約                     | ● 手 術                       | ● 予 約                |
| 泌 尿 器 科          |     | 大 和 隆                        | 大 和 隆                | 大 和 隆                     | 大 和 隆                       | 大 和 隆                |
| 産 婦 人 科          |     | 真 鍋 麻 美<br>工 藤 香 里           | 片 桐 清 一<br>田 中 加 奈 子 | 真 鍋 麻 美<br>工 藤 香 里        | ● 妊 婦 健 診<br>（一般外来休診）       | 片 桐 清 一<br>田 中 加 奈 子 |
| 眼 科              |     | 蒔 苗 順 義                      | 蒔 苗 順 義              | 蒔 苗 順 義                   | 蒔 苗 順 義                     | 蒔 苗 順 義              |
| 耳 鼻 咽 喉 科        |     | 黒 田 令 子<br>高 畑 淳 子           | 黒 田 令 子<br>高 畑 淳 子   | ● 手 術<br>（一般外来休診）         | 黒 田 令 子<br>高 畑 淳 子          | 黒 田 令 子<br>高 畑 淳 子   |
| 放 射 線 科          | 診 断 | 佐 々 木 幸 雄                    | 佐 々 木 幸 雄            | 佐 々 木 幸 雄                 | 佐 々 木 幸 雄                   | 佐 々 木 幸 雄            |
|                  | 治 療 | —                            | 阿 部 由 直<br>（午後）      | —                         | —                           | —                    |
| 麻 酔 科            |     | ● 手 術                        | ● 手 術                | ● 手 術                     | 工 藤 明                       | ● 手 術                |
| 女性専用外来           |     | 杉 本 菜 穂 子（※予約制／第1・第3火曜日午後診療） |                      |                           |                             |                      |
| セカンドオピニオン・がん特別相談 |     | —                            | —                    | —                         | 今 充                         | —                    |

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 【シリーズ】臨床検査のABC④ 免疫血清

現代の細胞工学の発展により抗体は抗原とより特異的に反応する抗体（モノクローナル抗体）が作られるようになり、抗原は人工的に加工したり反応に必要な部分だけを取り出したりするこ



とができるようになりこれらは臨床検査でもいろいろな簡易キットなどに応用できるようになりました。これらは色の変化やラインの有無などで短時間で判定できるものでマイクプラズマの迅速検査や一部感染症の迅速検査に用いられます。

病理主任 渡邊 拓之

## 【看護学校バザー】 日頃のご協力に感謝を込めて

8月28日（木）、2階大会議室で弘前病院附属看護学校自治会の主催の「バザー」＆「お茶会（茶道部）」を行いました。患者さまや職員、学生間の交流と患者さまに気分転換を図っていただくことを目的に開催しました。

例年は、病院と廊下でつながっていた看護学校の体育館で開催していましたが、今年は校舎移転に伴い、校舎が病院と離れたため、患者さまが屋外に出なくても参加していただける院内大会議室での開催となりました。

開催場所の変更に伴い、学生と患者さまが上手く交流ができるように、会場内の配置を工夫し、廊下の坂やエレベーターで混雑しないように案内しました。

開催中はたくさんの患者様をはじめ職員の方々にも参加していただ

き、大変にぎやかに行うことが出来ました。また、学生も店員や患者さまの介助などを通して、交流を深めることができたと思います。お茶会も多くの患者さまに楽しんでいただき、ありがとうございました。

バザーの収益は、昨年からの院内の図書充実のために寄付させていただいており、今年もその予定です。少しでも実習でお世話になってのご恩返しが出来れば幸いです。開催にあたり、ご協力くださった職員の方々に深く感謝いたします。

看護学校54回生 太田 一貴・工藤 千穂



## 【風の子保育園 運動会】

9月7日(日) 新築看護学校の講堂で「風の子保育園の運動会」を行いました。

たくさんの父母、祖父母が見守る中、元気あふれる園児の入場行進、力強い選手宣誓、ラジオ体操、決め手くん体操で競技が始まりました。

ハイハイヨチヨチ歩きでスタートし、人見知りしてなかなかアンパンマンに変身できずに悪戦苦闘した初めて参加の、つくし組の親子競技。一人で得意気な顔で車にのり、綱を持って花つみ、とんぼ取りに出かけた、たんぼ組。拾ったカードと同じマグロ、玉子、エビ、イクラ、寿司ネタを背負い、しゃり役の父母の背中にピタッとおんぶし、親子で回転寿司になり、会場から拍手をもらった、ばらちゅうりつ組。日頃から丈夫な体をつくる食べ物を勉強し、まるで栄養の博士?のように食の大切さを伝えた、さすが年長児ゆり、ひまわり組。



祖父母の競技では北京オリンピックにちなんで五輪のマークを作成しました。競技の途中で見事なフラフープ回しに会場から大歓声がわきおこりました。

赤い花をつけ、かわいらしく「崖の上のポニョ」の遊戯、はちまき半纏姿にパチを持って、勇ましく踊った「わっしょいっしょい江戸の華」、綱引き、玉入れ、親子リレー、力いっぱい走ったマラソン。今年も祖父母と一緒に津軽伝承の手踊り「どだればち」をホーイホーイと掛け声をかけながら踊りました。

最後まで頑張った園児達は管理課長から「今日は全員優勝です」と一人ずつメダルと大きなプレゼントをもらい大喜びでした。一日中親子の触れ合いを楽しみながら、友達と一緒に心と力を合わせて、思い出いっぱいの運動会を終えることができました。皆さん、お疲れ様でした。

風の子保育園 園長 諏訪 栄子



## 【ふるさと紹介】 ◆北海道岩見沢市◆

私の生まれ故郷である、岩見沢市について紹介します。

岩見沢市は、札幌市から北に32km、列車でわずか20分くらいのところにあり札幌のベッドタウンとなっています。人口は約9万人で、夏は弘前市よりも涼しく、冬は北海道内でも有数の豪雪地帯と言われています。年間降雪量が7mに達し、一晩で1m積もる日もあります。

岩見沢駅のホームには、「ばんばの像」(そりを曳く馬)が置かれています。かつて岩見沢では、ばんえい競馬が行われていました。世界で唯一、北海道でのみ行われている形態の競馬であると言われています。

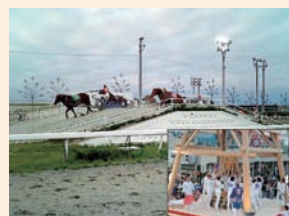
一般の平地競走で使われているサラブレッド系種などの「軽種馬」は使わず、古くから主に農耕馬として利用されてきた体重800~1200kg前後の「ばんえい馬」(重種馬)が、騎手と重量物を積んだ鉄製のそりを曳き、2箇所の障害が設置された直線200mのセパレートコースで走力と持久力を競います。

9月には、世界一の大白を使用したお祭りがあります。

お祭りの名前は、「ふるさと百餅祭り」といいます。1983年に、岩見沢開基100年を記念して、有志数名で始めた祭りと言われています。五穀豊穰、商売繁盛、健康長寿、岩見沢の発展を祈念し、世界一の大白(直径2.4メートル)、重さ(3.5トン)と杵(200キロ)で1俵(60キロ)の餅を、百餅若衆の音頭に合わせてヨイトマケ方式でつきあげる、ダイナミックな祭りです。ついたお餅は、お汁粉やきな粉餅にして配られます。毎年、敬老の日を最終日とする3日間で開催されています。

この他にも、ドカ雪祭りなど面白いお祭りが沢山開催されています。北海道に来た際には、ぜひ寄ってみてはいかがでしょうか。

栄養士 沢谷 里江



## 【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

夕焼けを 見に行こうと 父が言う (高大)

メダル獲る 選手に我も 励まされ (仁)

※掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

## お知らせ

### ◆ 苦情・相談窓口

患者様やお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)や、院内6か所に設置している『ご意見箱』で対応しています。

なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**  
Hirosaki National Hospital  
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地  
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>